

株主のみなさまへ

第190期 第2四半期報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで



秩父鉄道株式会社

ごあいさつ

拝啓 株主のみなさまには、平素から当社および当社グループの事業に対して格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日）の業績および当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組み、営業活動ではイベントの実施や沿線市町・同業他社などと連携した積極的な誘客活動を実施し収益の確保に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,774百万円となり前年同期に比べて2.9%減少いたしました。営業利益は前年同期比15.2%減の137百万円、経常利益は前年同期比15.0%減の117百万円、四半期純利益は前年同期比21.5%減の107百万円となりました。

当社では、株主のみなさまをはじめ、お客様、沿線地域社会の信頼に応えられる企業となるため、繰越損失の早期解消を図ると共に、コンプライアンス、環境対策、リスク対策など企業の社会的責任を果たすべくCSR経営を積極的に推進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成24年11月

代表取締役社長 大谷隆男

事業の概況

当社グループは、鉄道事業、不動産事業、観光事業、バス事業、その他事業を営み、当社と子会社6社で構成されております。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業

旅客部門におきましては、わくわく鉄道フェスタや各関係団体などと協力したハイキング等を実施し収益の向上を図りました。東日本大震災からの回復傾向もあり定期、定期外収入とも前年同期に比べ増加いたしました。SL関係の収入が運休の影響により減少いたしました。

貨物部門におきましては、安定したセメント需要が継続し順調に推移いたしました。

営業費用は、電気料金の値上げ等の影響もあり前年同期に比べ増加いたしました。

以上の結果、営業収益は前年同期比0.5%減の1,754百万円、営業損失は18百万円となりました。

不動産事業

不動産事業におきましては、深谷市小前田の分譲地販売が振るわず、営業収益は前年同期比12.2%減の248百万円、営業利益は136百万円となりました。

観光事業

観光事業におきましては、天候不順の影響等により、営業収益は前年同期比13.4%減の157百万円、営業利益は11百万円となりました。

バス事業

バス事業におきましては、東日本大震災の影響を脱しつつあり、営業収益は前年同期比12.5%増の228百万円、営業利益は2百万円となりました。

その他事業

その他事業におきましては、営業収益は前年同期比5.0%減の597百万円、営業損失は2百万円となりました。

四半期連結財務諸表

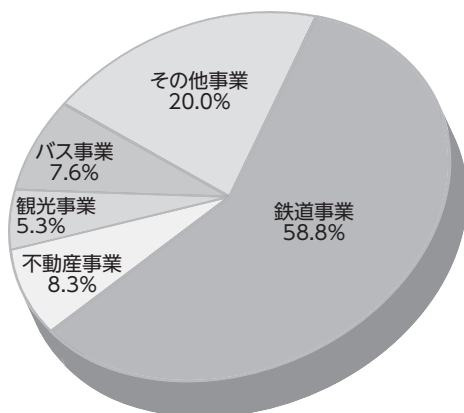
連結貸借対照表の要旨

(単位:千円)

科 目	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,692,913	1,888,934	△ 196,021
固定資産	21,220,572	21,349,258	△ 128,686
資産合計	22,913,486	23,238,192	△ 324,706
(負債の部)			
流動負債	3,717,219	3,939,287	△ 222,068
固定負債	9,876,519	10,062,962	△ 186,443
負債合計	13,593,738	14,002,250	△ 408,512
(純資産の部)			
株主資本	△ 207,443	△ 315,171	107,728
資本金	750,000	750,000	-
資本剰余金	21,991	21,998	△ 7
利益剰余金	△ 951,410	△ 1,059,264	107,854
自己株式	△ 28,024	△ 27,905	△ 119
その他の包括利益累計額	9,516,073	9,539,940	△ 23,867
少数株主持分	11,118	11,173	△ 55
純資産合計	9,319,748	9,235,942	83,806
負債純資産合計	22,913,486	23,238,192	△ 324,706

※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

セグメント別営業収益構成比



連結損益計算書の要旨

(単位:千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減額
営業収益	2,774,803	2,859,052	△ 84,249
営業費	2,637,723	2,697,451	△ 59,728
営業利益	137,079	161,601	△ 24,522
営業外収益	25,215	25,149	66
営業外費用	44,838	48,492	△ 3,654
経常利益	117,456	138,257	△ 20,801
特別利益	67,109	21,641	45,468
特別損失	66,655	20,954	45,701
税金等調整前当期純利益	117,910	138,944	△ 21,034
法人税、住民税及び事業税	10,021	1,571	8,450
法人税等調整額	83	67	16
少数株主損失	△ 47	△ 47	0
四半期純利益	107,853	137,352	△ 29,499

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,966	252,757	△ 212,791
投資活動によるキャッシュ・フロー	100,689	△ 192,604	293,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 76,234	△ 10,312	△ 65,922
現金及び同等物の増少額	64,420	49,839	14,581
現金及び同等物の期首残高	699,860	708,665	△ 8,805
現金及び同等物の四半期末残高	764,281	758,505	5,776

※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

役員・株主メモ

役員 (平成24年6月26日現在)

代表取締役社長	大谷隆男
常務取締役	鎌倉良之
取締役	赤岩一男
取締役	中山高明
取締役	四方田俊男
常勤監査役	高田眞平
監査役	西村俊英
監査役	村上直樹

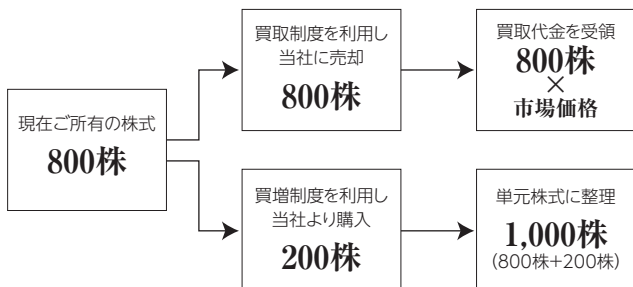
株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
同事務取扱所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

(郵便物送付先) 〒137-8650
お問い合わせ先) 東京都江東区塩浜二丁目8番18号
日本証券代行株式会社 代理人部
0120-707-843(フリーダイヤル)

公告方法 東京都において発行する日本経済新聞
单元未満株式の ご購入 ご購入の单元未満株式を当社に買取よう請求
買取制度 求できる制度です。

(例)当社株式を800株ご所有の場合、その800株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。



買増制度 ご購入の单元未満株式を1单元(1000株)の株式にする為に必要な株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

(例)当社株式を800株ご所有の場合、200株を市場価格で当社から購入し、1000株にする。

株主優待制度

毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引券を発行いたします。

1. 優待乗車証(定期券式)

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
15,000株以上 21,000株未満	当社電車全線優待乗車証	1枚
21,000株以上	当社電車全線および・索道(宝登興業株式会社 宝登山ロープウェイ)全線優待乗車証	1枚

※有効期間・・・6月1日から1ヵ年間(5月下旬発送)

2. 優待乗車証(回数券式)

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	発行枚数
1,000株以上3,000株未満	2枚
3,000株以上5,000株未満	4枚
5,000株以上10,000株未満	6枚
10,000株以上	10枚

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間(6月下旬発送)

3. 優待割引券

ご所有株式数1000株以上で、優待割引券を発行いたします。

施設名	発行枚数
宝登山小動物公園	特別入園券 5枚
長瀨ライン下り	50%割引券 各5枚
有隣倶楽部お食事代(飲み物は除く)	
ガーデンハウス有隣お食事代(飲み物は除く)	
秩鉄タクシー株式会社	運賃200円割引券5枚

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間(6月下旬発送)



秩父鉄道株式会社

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町1丁目1番地

TEL 048-523-3311(代表)

URL <http://www.chichibu-railway.co.jp>